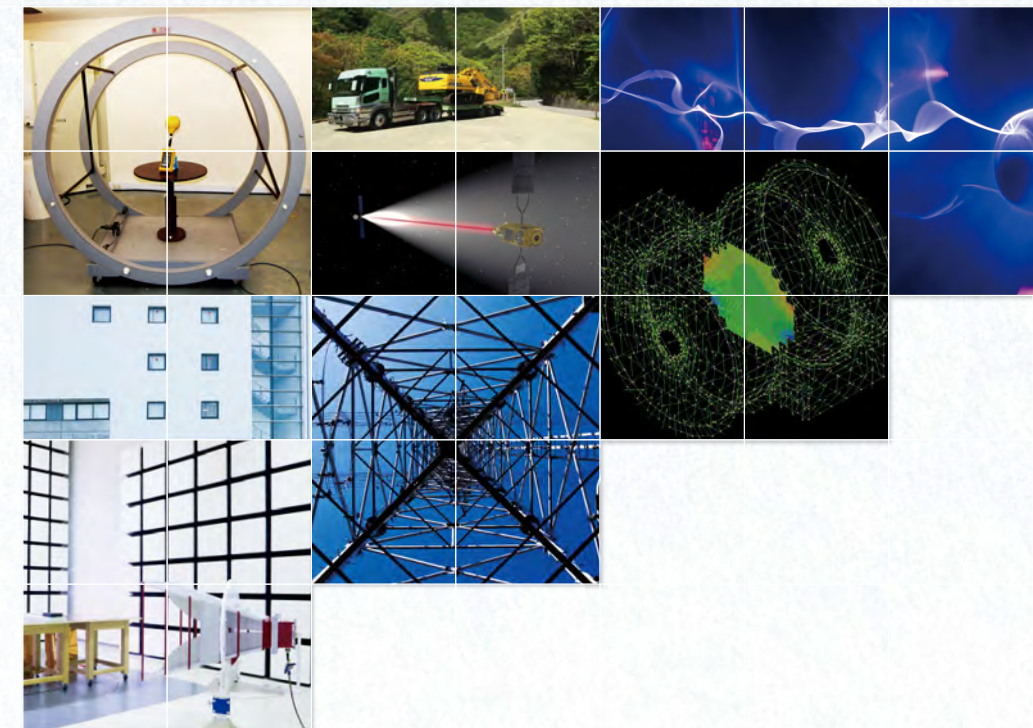


www.e-ohtama.jp

会社案内

Corporate Profile



イントロダクション

e・オータマは「EMC試験」を通じて
安全な製品づくりをサポートし
豊かな未来と社会の発展に貢献します

EMC = Electro-Magnetic Compatibility

電 磁

両立性



いま、そこにある「見えざる脅威」に挑む

電気・電子機器の製品化や国内外へ送り出す際に必要とされるEMC対策。e・オータマは、電磁波の影響を測定する「EMC試験」を行う会社です。私たちのサービスは、さまざまな分野で電子化・自動化が進む現代社会にとって重要な意味を持つ事業です。その役割を自覚し、技術を磨く努力を惜みず、お役に立ちたいという真摯な思いで、お客様のご要望にフレキシブルに対応する姿勢を大切にしています。私たち e・オータマ は、これからも社会の発展とともにグローバルに広がる需要にお応えしてまいります。

e・オータマの特徴

高いコミュニケーション力と技術力を誇る
エンジニアがきめ細かくご対応

車載から防衛・航空・宇宙関連、家電・IT・医療機器まで、
すべての分野のEMC試験が可能

EMC試験からノイズ対策・申請代行・
CEマーキング適合支援まで、ワンストップでサポート

充実した設備と環境を備えた試験所を
東海・関東6カ所に保有

磁気シールドで50年以上の実績を誇る
株式会社オータマのグループ会社

EMC試験とは

電気・電子機器から発生する電磁波が他の電子機器に悪影響を及ぼさないか(EMI)、逆に他の機器から発生する電磁波を受けて機能障害を起こさないか(EMS)を測定する試験。e・オータマは、理想的な試験サイト、優れたエンジニアによって、世界レベルの EMC 試験サービスをご提供しています。



今後もEMC試験は、ますます重要に

世界的に電磁波の影響が問題となったのは、1930年代。1933年には国際規格化が始まりました。欧米では1950年代にまず軍事分野での EMC 規制がスタート、1977年頃からは、米国でパソコンなど IT機器の規格も整備されてきました。日本でも1985年に業界団体が自主規制を開始。

e・オータマは、日本の EMC の黎明期ともいえる1989年に設立され、順調に発展してきました。今後も IoT、各種ロボットが身近になり、自動車の電子制御や自動運転、ドローンの活用が本格化するにつれて EMC の重要性は高まり、EMC 試験所の活躍の場が広がっていくのは間違いありません。

EMCサービス

車載電子機器、防衛・航空・宇宙機搭載電子機器、IT・産業・医療機器などのEMC試験および海外申請代行支援まで
トータルなサービスを提供



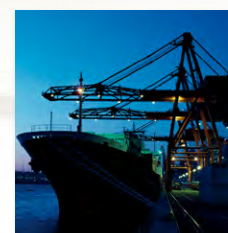
車載電子機器



3m法電波暗室、簡易電波暗室、シールド室を、自動車に搭載する電子機器用のEMC試験室としてご用意。需要の高い東海地区には専用試験室を設けており、世界最高クラスの性能を誇るEVモータのEMC試験システム『e-MotorChamber』を用いた試験など、電気自動車のEMC試験がトータルに実施可能です。
このほかにも、国内外の各自動車メーカーが要求するさまざまな独自規格や特殊なEMC試験にも、経験豊富な



エンジニアが対応。規格に適合しなかった場合のノイズ対策も専任エンジニアが解決いたします。
また、大型建機のEMC試験に対応できるフィールドテストサイトも完備しています。

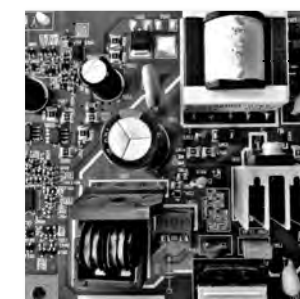
防衛・航空・宇宙機
搭載電子機器

一般製品にも自主適用されることがある MIL 規格はもちろん、RTCA (航空機器規格) など代表的な試験規格に対応し、試験を実施します。
登録試験所にはこの分野に特化した専用試験室があり、

MIL 規格に精通した実績豊富なエンジニアが試験を担当します。

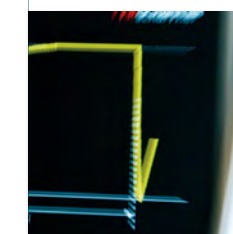


IT・産業・医療機器 他



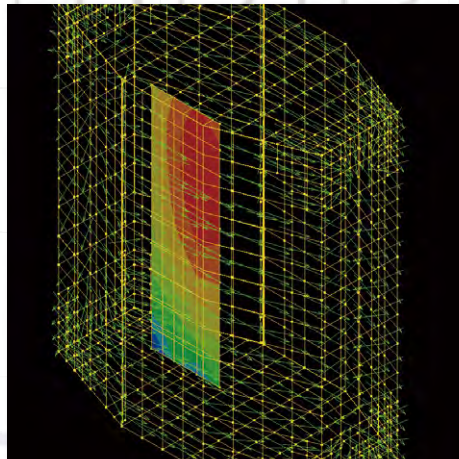
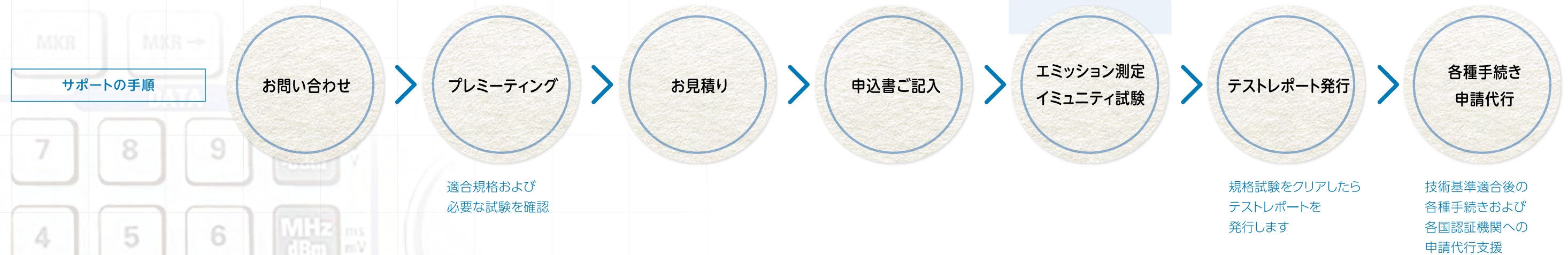
IT機器、医療電子機器、音響製品、産業機械などについても、幅広い国際・国内規格に対応できる試験設備、エンジニアを揃えています。創業

以来30年以上にわたって積み重ねたノウハウを活かし、常に高品質な試験サービスを追求しています。



EMCサービスフロー

EMC試験からノイズ対策、申請代行まで
認証適合へ向けてフルサポートいたします



ノイズ対策支援

製品化直前に EMC 規格をクリアできないなど、悩まされることの多いノイズ問題について専任エンジニアが EMC 試験を合格までガイドします。スムーズな製品化に向けて、試験／回路／基板・筐体設計に精通した当社のプロフェッショナルが設計や性能、コストに即した

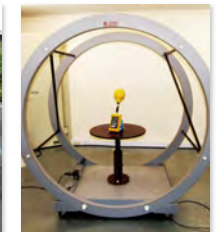
改善手法をご提案。扱う分野は車載から医療・IT機器まで幅広く、当社で試験をされたお客様はもちろん、ノイズ対策だけでも承ります。



海外申請代行

米国、ヨーロッパ、中国、韓国、台湾、東南アジア、中南米など、海外認証取得のための各国申請代行サービスをご提供。特に無線機器はどの国でも法規制が行われており認証取得が必須です。

現地代理人代行も含め、スタートからフィニッシュまで海外認証取得のフルサポートを行っております。



出張EMC試験

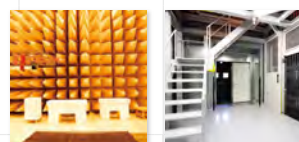
製品を持ち込みできない場合には、当社EMCエンジニアが試験機器一式を携えてご指定の場所にうかがい、その場でEMC試験を実施いたします。試験に必要な周囲環境条件をチェックし、信頼性の高いデータをご提供します。

受託試験

お客様の立会いが不要なので、低コスト、短期間をご希望の場合に最適なEMC試験サービスです。プリチェックを基本に、必要な測定内容が選択できます。もちろん、フルサポートも対応可能です。

試験所ロケーション

高品質な測定サービスを可能にした e・オータマが誇る試験所

**東京試験所**

首都圏近くの総合EMCラボ

〒215-0033

神奈川県川崎市麻生区栗木 2-8-20

Tel. 044-980-2050

Fax. 044-980-2052

**登戸試験所**車載・防衛・航空・宇宙専用の
交通至便なEMC試験所

〒214-0014

神奈川県川崎市多摩区登戸 294

Tel. 044-911-8601

Fax. 044-911-8621

**山梨エリア**

大型、大電源容量機器や建機のEMC試験も可能

芦川試験所（エミッション測定）

〒409-3704

山梨県笛吹市芦川町鶯宿 1661

Tel. 055-298-2141 Fax. 055-298-2125

芦川溪流サイト（大型建機のエミッション測定）

〒409-3712

山梨県甲府市古関町 1948

上九一色試験所（イミュニティ試験）

〒409-3712

山梨県甲府市古関町 3415

Tel. 0555-88-2580 Fax. 0555-88-2588

**東海エリア**

EVモータの負荷あり試験、高圧電源にも対応可能な車載機器EMC専用試験所

刈谷駅前試験所

〒448-0858

愛知県刈谷市若松町 4-28

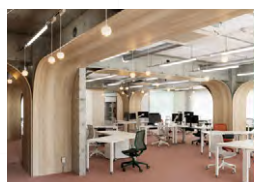
Tel. 0566-62-9241 Fax. 0566-62-9243

富士松試験所

〒448-0008

愛知県刈谷市今岡町吹戸池 68

Tel. 0566-26-2890 Fax. 0566-26-2891

**セントラルオフィス**

事務拠点として、本社機能を集約

〒214-0014

神奈川県川崎市多摩区登戸2437-1

Tel. 044-911-3912

Fax.044-391-3916



TOKYO



NOBORITO



YAMANASHI



TOKAI

東京エリア

東京試験所

登戸試験所（2棟）

セントラルオフィス

山梨エリア

芦川試験所 / 芦川溪流サイト

上九一色試験所

東海エリア

富士松試験所

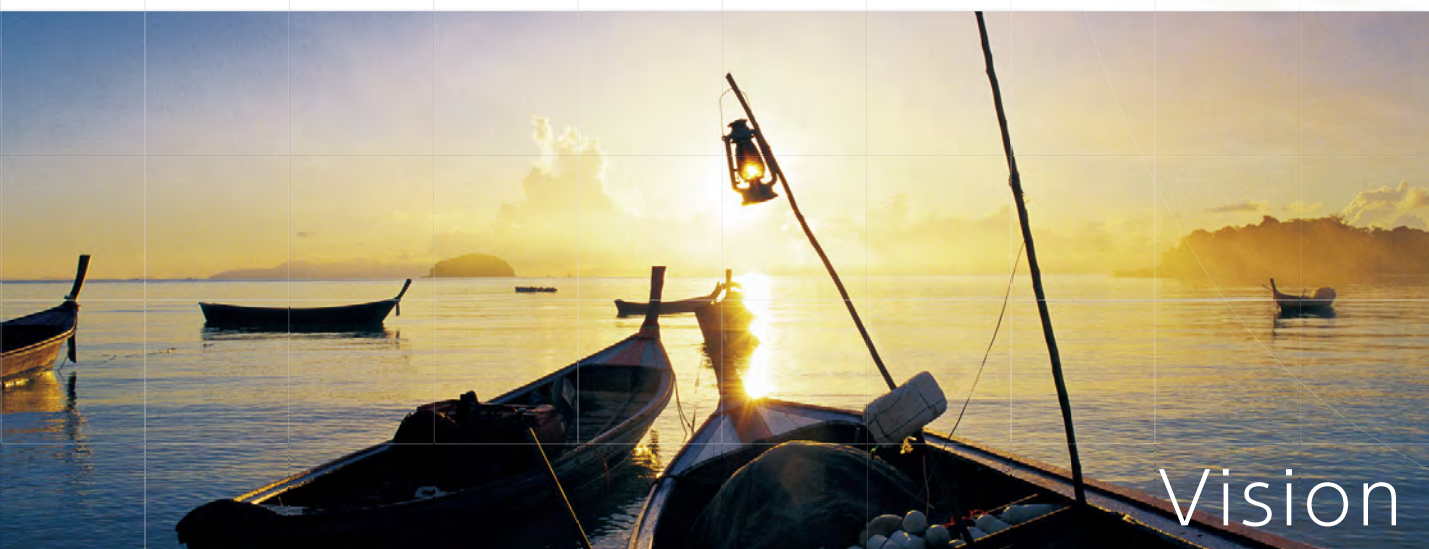
刈谷駅前試験所

東京・山梨・愛知に7拠点

社員と会社が共に成長し、顧客の価値創造に貢献する

共育共生

Develop together

優秀なエンジニアを育て、
業界トップを目指す

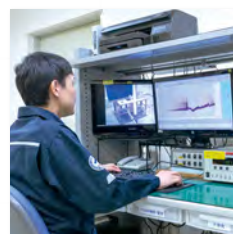
e・オータマには、二つの目標があります。その一つは、「難易度の高いEMC業界でトップになる」ということ。近年、電子機器の増加に伴い、EMC試験の需要が急速な高まりを見せています。競争が激化するEMC業界にあって、成功のカギを握るの

は、エンジニアの質である、と私たちは考えています。e・オータマは、「高いレベルのEMCエンジニアを育て上げ、高付加価値なサービスを提供する」を20年来の理念として掲げ、優秀なエンジニアの育成に力を注いでいます。

社員一人ひとりが
楽しめる会社をつくる

二つめは、「この業界でまだ誰もつくったことがない理想的な会社をつくる」ということ。e・オータマにとって、お客様と同様に大切なのが、他ならぬ社員たちです。経営理念に会社よりも社員を先に記載しているのは、そのよ

うな思いからです。社員一人ひとりのライフプランを考えたとき、会社は人生の半分近くを過ごす場所なのだから、どの社員にとっても楽しめる存在でありたい。これがe・オータマの経営の根幹です。ゆくゆくは「定年がない会社」は実現可能なのかを追求したいと考えています。



「古くて新しい」会社

個性豊かなメンバーが急成長を牽引

e・オータマの設立は1989年ですが、社員の大半がここ10年ほどの間に入社しており、それに比例するように、この10年で急拡大を遂げてきました。彼らの多くは転職組で、前職の分野・業種もさまざま。多彩なバックグラウンドを持つ個性的な社員たちがのびのびと実力を発揮できる職場環境です。離職率がきわめて低いことも自慢の一つです。

粒よりのエンジニアたち

エンジニアは「サービス業」

e・オータマのエンジニアは、お客様を大切にする「サービス」としての心得を大事にし、技術を尊重し、常に高いモチベーションをキープしています。サービス精神旺盛で前向き、成長意欲あふれるエンジニア、高い技術力と豊富な経験を持つハイスpekエンジニアたちを揃え、経営理念の実践とビジョンの共有を図っています。

優秀なコーチたちがしっかり教育

e・オータマのエンジニアは半分以上がEMC未経験。しかし、コーチとなる優秀な先輩エンジニアがたくさん在籍しており、EMC業界未経験の新人でも効率よく教育します。一方で、エキスパートエンジニアを目指すベテラン向けのプログラムも充実しています。

厳しい社内資格試験で実力強化

EMC試験の唯一の資格であるiNARTE取得支援はもちろん、実践的な力をつけるために、厳しい社内試験を実施しています。試験所間での異動もあるため、車載、IT・産業・医療、防衛・航空・宇宙、すべての分野の社内資格取得にチャレンジする社員も少なくありません。

数字で見るe・オータマ

EMC用
試験室数※40
室以上

業界トップクラス！

※暗室、シールド室、オープンテストサイト、グランドプレーンルームの合計

EMC業界での
経験20年以上の
エンジニア数20
名以上

業界トップクラス！

対応可能
EMC規格数※100
以上

業界トップクラス！

※車載、IT・産業・医用、防衛・航空・宇宙、すべての分野をカバー

EMC試験
機器数※

約 3,000

業界トップクラス！

※ケーブル、アダプタ、治具を除く

お客様の
リピート率90%
以上

EMC試験業界の常識を変える



代表取締役社長
奥村 哲也

当社は平成元年11月11日11時11分11秒に創業者の野上悦司が株式会社オータマの山梨工場として「日本一のEMC試験所」を目指して設立いたしました。創業前から長い月日をかけて最高のパフォーマンスを提供できる理想的な測定環境を探し続け、30年以上が経つ現在でも電磁環境が全く変わらない天然の暗室のようなオープンテストサイトを富士山の麓に設置いたしました。目に見えない電磁波の測定に精魂込めた技術者魂は今も変わらず、真理の探求を貫く社風を誇りとした結果、多くのお客様の寵愛を受けることができ、今では国内トップクラスの試験所にまで成長することができました。競争が激化するエレクトロニクス産業の

発展に寄与するため、我々EMC試験所は劇的な進化を遂げなければなりません。そのためにはEMC評価時間の短縮化、試験治具の効率化、ノイズ対策技術の強化、国内外の規制規格への精通などを提唱し続け、高いレベルのエンジニア育成に身を砕いてまいりました。
何か新しく面白いことを提案するチャレンジャーでありたい。
この一心で、今後もEMC業界の常識を180度覆すような画期的な手法や仕組みを開発すべく鋭意努力し続け、最高品質のEMCコンシェルジュサービスを提供し、お客様の発展の礎となるべく、今後も心血を注ぐ所存でございますので、相変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



東京試験所／10m法電波暗室

会社沿革

1989 (平成元年)	11月	山梨県芦川村に EMCオータマ株式会社設立	2011 (平成23年)	2月	富士松試験所 開所 (愛知県刈谷市)
1990 (平成2年)	1月	EMI事業 (電磁波測定および対策業務) を開始	2012 (平成24年)	4月	登戸試験所 開所 (神奈川県川崎市)
1996 (平成8年)	11月	山梨県甲府市 (旧上九一色村) に TPSオータマ株式会社設立	2013 (平成25年)	10月	株式会社e・オータマに社名変更 ※ テュフズードジャパン株式会社より自己株式を取得し、株式会社オータマのグループ会社となり、社名を変更。
		EMS (イミュニティ) 事業を開始			
2001 (平成13年)	10月	東京都府中市にて医療機器の製品安全試験を開始	2014 (平成26年)	3月	テュフズードジャパン試験所登録 (CARAT)
2002 (平成14年)	8月	EMCオータマ (株) がテュフオータマ (株) に社名変更	2015 (平成27年)	6月	刈谷駅前試験所 開所 (愛知県刈谷市)
	10月	テュフオータマ (株) がTPSオータマ (株) を吸収合併	2016 (平成28年)	6月	芦川溪流サイト 開所 (山梨県甲府市)
			2018 (平成30年)	6月	登戸試験所に新棟追加
			2019 (令和元年)	11月	設立30周年
2006 (平成18年)	3月	東京試験所 開所 (神奈川県川崎市) 府中の試験所は全面移転	2020 (令和2年)	6月	e-MotorChamber発表
				10月	e-MotorChamber暗室が完成 (富士松試験所)
2007 (平成19年)	2月	EMC技術情報誌「Interference Technology」日本語版を発行開始 (無料Webマガジン)	2021 (令和3年)	4月	中井試験所 開所 (神奈川県足柄上郡)
			2022 (令和4年)	3月	中井試験所 閉所 (契約期間満了による)
			2023 (令和5年)	5月	セントラルオフィス 開所



芦川試験所 オープンサイト



上九一色試験所 電波暗室



東京試験所



富士松試験所



登戸試験所



刈谷駅前試験所



芦川溪流サイト



Interference Technology 日本語版

会社概要／経営実績

会社概要

会社名 株式会社e・オータマ

登記名：株式会社イー・オータマ

英文名：e-OHTAMA, LTD.

本 社 〒206-0811 東京都稲城市押立1744-95

設 立 平成元年(1989年)11月11日

資本金 2,000万円

代表取締役 奥村哲也

株 主 株式会社オータマ

取引銀行 りそな銀行

みずほ銀行

三菱UFJ銀行

日本政策金融公庫 他

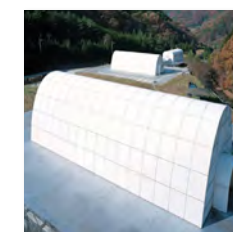
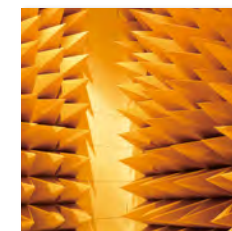
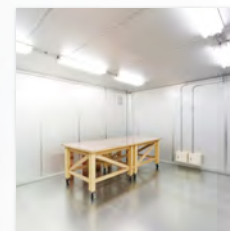


従業員数 86人

事業概要 電磁波測定、電磁環境調査、テレコム認証、
各国申請代行、および付帯する業務一切URL <https://www.e-ohtama.jp>

主要設備 電磁波測定及び対策用10m法オープンサイト (1)
電磁波測定及び対策用暗室 (15)
シールドルーム (17)
フィールドテストサイト (1)
グランドプレーンルーム (8)
その他電磁波測定に必要な測定機器一式

(2022年4月1日現在)



グループ会社紹介



株式会社e・オータマは、50年以上の実績を誇る業界トップメーカー株式会社オータマのグループ会社です。
www.ohtama.co.jp

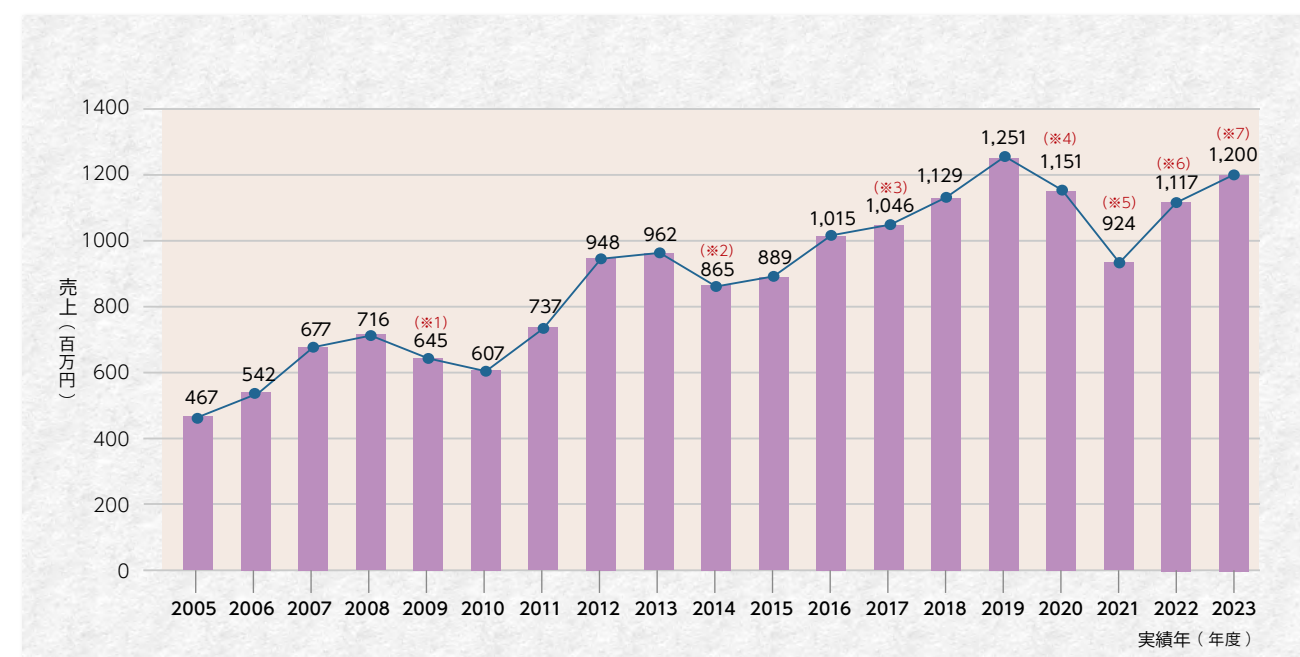
磁気シールド、磁界測定の
エキスパート集団「オータマ」

株式会社オータマは、高透磁率軟磁性材料（パーマロイなど）の加工熱処理専門メーカーです。

1964年に磁気ヘッドなどの金属加工、熱処理からスタート。その後、計測・事務・交通・船舶・航空・医療など、さまざまな分野の産業の基礎となる磁気シールド技術

とその評価技術確立し、確固たる地位を築いています。昨今では、米国政府プロジェクトの線形素粒子加速器やメガフロート、そしてナノテックなどの新技術に欠かせない、極めて厳しい磁気シールドへの要求に絶えず応え続けています。

経営実績／売上高の推移



(※1) 2009～2010年 リーマンショック (※2) 特定事業(約1.5億円)を他社へ譲渡 (※3) 特定事業(約6千万円)を取りやめ
(※4) 新型コロナウイルスの影響 (※5) 決算月変更により11ヶ月 (※6) 中井試験所閉鎖 (※7) 2023年は見込み